

最優良賞

「根室地域（^{おちし}落石地区）マリンビジョン協議会」

～ 落石産水産物の販売促進・普及宣伝活動 ～

【協議会の概要】

「根室地域（落石地区）マリンビジョン協議会」は、漁港周辺の優れた自然環境・景観を活用しつつ、エコツーリズムの推進による国内外からの来訪者との交流やつくり育てる漁業の推進による地域振興を目指しています。

【取組概要と選定理由】

落石地区は多種多様な水産物が漁獲される地域ですが、近年は若年層を中心とした魚食離れによる消費量の減少、それに伴う魚価の低迷が課題となっていました。

そこで、根室地域（落石地区）マリンビジョン協議会では、落石産水産物の知名度・認知度を高め、消費拡大・販路拡大を図るためにこれまで以上に販売促進活動を展開することとし、あらゆる機会を通じて、消費者に対して売り込みを行うこと、消費者ニーズに対応した商品開発や高品質な水産物の供給による「落石産ブランド」の確立に向けた取組を実施してきました。

令和6年には、根室市地域おこし協力隊と連携して札幌市の居酒屋において飲食業者や水産卸売り業者を対象とした水産展示会を開催し、水産物の売り込みを行っています。また、首都圏の居酒屋で「北海道根室市落石フェア」と題して「ヤナギダコ」「ミズダコ」「秋サケ」を提供し、落石地域のPRに加えて、消費者の声を調査し、商品開発に活かしています。

これらの取組は、地域の知名度向上と水産物の販売拡大に向けた取組を継続・拡大させている好事例として、また、自ら都市部へ売り込みを行い継続的な取引に繋げていることが高く評価され、最優良賞に選定されました。



落石産水産物の展示会

首都圏居酒屋でのPR・アンケート

優良賞

「苫前地域マリンビジョン協議会」

～苫前漁港 港内蓄養実証事業～

【協議会の概要】

「苫前地域マリンビジョン協議会」は、苫前町の街づくり推進計画の核である「シーフロントパークとままえ整備構想」と連携して、臨海部の苫前夕陽ヶ丘地区に都市との交流拠点を創出し、地域産業が相互に協働・連携した取組を展開して、水産業を核とした、多くの来訪者との交流機会に恵まれた活力と賑わいのある環境の形成を目指しています。

【取組概要と選定理由】

苫前地域では、漁港ストックの有効活用及び漁業者の経営安定化、リタイヤ年齢の向上等に向けて、漁港内の静穏水域を活用した蓄養・養殖事業の実用に向けた実証実験を令和5年より開始しています。

漁港内の静穏域を活用して、ウニの蓄養を実施するとともに、ウニの餌となるコンブの養殖を行っており、歩留まりの調査や色、食味についての試験を継続的に行っています。

蓄養したウニは、漁港を見下ろす高台に位置する、道の駅「とままえ温泉ふわっと」や「直売所」で提供することで、漁業者の所得の向上に加え、来訪者も含めて町内外を対象とした地産地消に取り組んでいます。

現在は実証実験を行っている段階ですが、漁港内の静穏域を有効に活用していることや継続的なモニタリングが評価され、更には今後の海業に関連した展開も期待されることから、優良賞に選定されました。



ウニの蓄養



蓄養したウニ

優良賞

「寿都地域マリンビジョン協議会」

～朱太川流域環境共生圏の形成～

【協議会の概要】

「寿都地域マリンビジョン協議会」は、山・川・里・海がコンパクトにまとまった特徴的な自然と水産業を核とした地域産業、自然と共生した生活・文化を活かし、「寿都・後志ツーリズム交流文化圏」の形成を目指すとともに、交流人口増を契機に水産業や既存産業との連携を図り、新たな交流関連産業などによる地域の“元気”を創出することを目指しています。

【取組概要と選定理由】

寿都地域は漁業を基幹産業とした地域ですが、担い手不足が課題となっていました。

そこで、地元の水産業の魅力を体験を通じて五感で学ぶことにより、子供のうちから漁業に興味を持ってもらい、将来の担い手育成へ繋がるよう取組を進めてきました。また、寿都町と水産振興のための協定を結んでいる東海大学と連携して、調査や研究を行うことで、新しい漁業の発掘と人材育成を行っています。

水産教育は、保育園ではサケの一生のおはなしを聞き、小学校では磯場学習、ホタテ、寿（ことぶき）カキ、ウニの学習や、サケの人工授精体験などを行っています。また、中学校では海洋ゴミ問題、磯焼け問題などの海洋環境保護について学び、高校生では臨海実習として東海大学から講師を迎えて実際に海に出て海洋生物などについて学んでいます。

これらの保育園から高校までの多岐にわたった水産教育に継続して取り組んでいることが評価され、優良賞に選定されました。



中学生の磯焼け問題の学習



高校生の臨海実習

優良賞

「登別・白老^{こじょうはま}（虎杖浜）地域マリンビジョン協議会」

～漁港及び漁港以外での朝市・夕市の開催～

【協議会の概要】

「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン協議会」では、登別・白老（虎杖浜）ブランドの水産物を核として徹底した品質・衛生管理の強化を図り、産地基盤を強固にするとともに、地産地消を推進して地場の水産応援団の拡大を図り、食と交流の感動を同時に創出することで観光産業との相乗効果の発現を目指しています。

【取組概要と選定理由】

登別・白老（虎杖浜）地域では、水産物のPRや地産地消の拡大、都市と漁村の交流促進を目的として、水産物の販売を行う朝市・夕市を開催しています。令和6年度は、登別漁港と白老港で計6回の開催を行い、地元水産物のPRを行いました。

この取組は、平成18年から実施しており、途中、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小を余儀なくされた時期もありましたが、継続して取組を進めています。

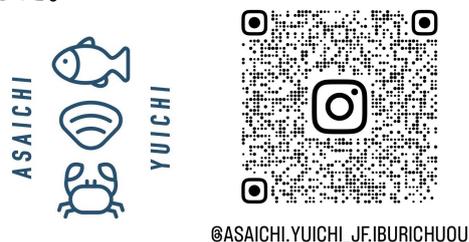
令和6年9月に開催された朝市では、漁協女性部によるオオズワイガニ汁の販売、オオズワイガニの詰め放題、鮮魚の詰め合わせBOXを販売するなど、内容の拡充にも取り組んでいます。

また、新たな取組として、地元水産物の販売を周知するためのInstagramのアカウントを作成、開催案内や開催内容の動画を掲載することでPRを行いました。

これらの取組について、継続して行われていることやSNSを活用し地域の実態に即してステップアップが見てとれることから、優良賞に選定されました。



朝市・夕市の開催



InstagramでのPRを実施

優良賞

「根室地域（^{はぼまい}歯舞地区）マリンビジョン協議会」

～歯舞新施設を核とした海業振興～

【協議会の概要】

「根室地域（歯舞地区）マリンビジョン協議会」は、歯舞ブランドの確立に向けて、多様な取組を展開し、水産業はもとより地域経済や地域の活性化を目指しています。特に歯舞水産物のブランド化を中心テーマに位置付け、その取組を通じた漁業振興による地域の活性化に向けて地域関係者が一体となって、活気のある漁村地域づくりを目指しています。

【取組概要と選定理由】

歯舞地域では、令和4年に衛生管理型市場・防災施設・海業支援施設と多くの機能を兼ねた歯舞漁業協同組合の新施設が完成し、海業振興に向けた取組を活発に行っています。新施設には、一般のツアー客や教育旅行学生、北方領土青少年視察団・都府県議会等の視察団体も多く訪れ、施設の説明のほか、北方領土学習や貝殻昆布の歴史などコンブ漁業の説明等を行っています。

学生が漁家へ滞在してコンブ漁の作業を担う「昆布漁業体験型インターンシップ」では、漁家は学生へ食事と寝床を提供し、学生はコンブ干し作業などのコンブ漁の作業全般を行っています。この取組により、漁家は軽労化が図られ、学生は住民と触れあひながら漁業の魅力や意義を感じることができ、漁家・学生双方のメリットとなりました。

また、北方領土に隣接した地域の特性や自然環境を活かし、世界でも有数の渡り鳥を見ることが出来る「パノラマ・クルーズ」についても、首都圏や地方で行われる催事でのPRに加え、旅行代理店へ出向くなど、積極的なPR活動を展開しています。

これらの漁協新施設と直販事業を関連させた取組など、多面的機能を十分活かした海業振興への取組が評価され、優良賞に選定されました。



視察の受け入れ（昆布保管倉庫）



昆布漁業体験型インターンシップ

奨励賞

「室蘭地域マリンビジョン協議会」

～昆布養殖・藻場造成実証事業～

【協議会の概要】

「室蘭地域マリンビジョン協議会」は、規模や役割の異なる4地区（追直漁港、室蘭港崎守漁港区・絵鞆漁港区、イタンキ漁港）が補完・連携しあい、水産業と人々の交流を通じた漁港と地域の一体的な活性化と地域水産業の振興を図ることを目指しています。

【取組概要と選定理由】

室蘭地域では、近隣に良好な藻場を有していますが、近年は環境が大きく変化しており、海藻の生育が困難な環境になっているのではとの報告が漁業者から寄せられていました。

そこで、室蘭地域マリンビジョン協議会では、自然海域の海藻繁茂と海藻を餌とする水産物の歩留まりの上昇を目指して、追直漁港ではコンブとワカメの試験養殖を、他海域では海藻を繁茂させるための藻場造成を始めました。

試験養殖にあたっては、海藻への食圧減少を目的としてキタムラキウニの採捕や、コンブ母藻の投入、ウニ殻肥料の活用などを行っています。藻場造成に使用したウニ殻肥料については、積丹地域のマリンビジョン協議会の取組（令和4年度にマリンビジョンコンテスト優良賞を受賞した「ウニと藻場の循環型生産システム」）を参考にしており、マリンビジョンの取組が地域を超えて展開されています。

本事業は令和5年度から始められたものであり、水温や潮流の影響などの解決すべき課題もありますが、専門機関のアドバイスや先進事例の研究などを受けることにより、今後の展開に期待が大きい取組として、また、地域マリンビジョンの取組が他地域に波及した好事例として奨励賞に選定されました。



母藻のコンブ



養殖ワカメ（左）、天然ワカメ（右）